

土浦協同病院 脳神経外科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

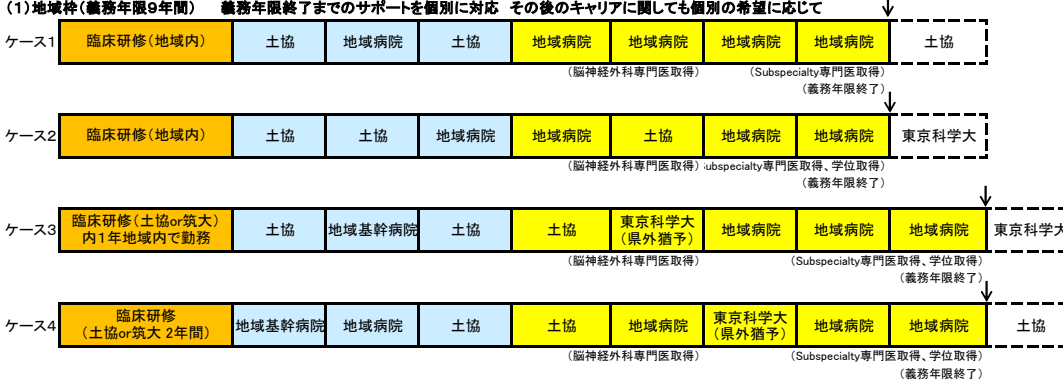
特徴

- 1) 東京科学大学と密接な関係を持ち、最先端医療を含めた研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援している。
- 3) 脳神経外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、長期的視野に立った医師育成を目指している。
- 4) 希望者には東京科学大学の各専門内科領域講座に入局し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能。
- 5) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
- 6) 内科専門医取得後、あるいはSubspecialty専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。
- 7) 当施設を含め東京科学大学の関連施設は女性医師の比率が30%以上と多く、女性医師でも安心して勤務できる環境を提供できる。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
脳神経外科専門研修
脳神経外科Subspecialty専門研
〇〇科・Subspecialty運動研修

(1) 地域枠(義務年限9年間) 義務年限終了までのサポートを個別に対応、その後のキャリアに関しても個別の希望に応じて



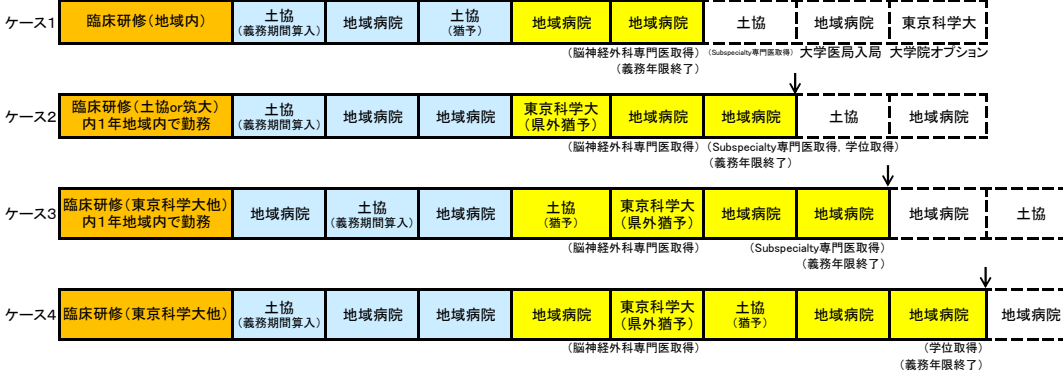
(備考)
臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

臨床研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

臨床研修2年間が地域内たすき、2年目が土浦協同専門研修猶予活用で義務1年延長

臨床研修2年間が土浦協同病院または筑波大専門研修猶予活用で義務1年延長

(2) 一般修学(義務年限6年間)



臨床研修2年の後すべて指定病院へ派遣
専門研修の猶予活用で義務1年延長

臨床研修の1年間を土浦協同or筑波大で、専門研修後猶予活用で義務修了が9年目

臨床研修の1年間を県外で行い、専門研修後にも猶予活用で義務修了が9年目

臨床研修を県外で行い、専門研修後でも猶予活用するため義務修了が10年目

地域病院例はなめがた地域医療センター。今後さらに連携病院を増やしていく予定
地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能
Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定。

【脳神経外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	JAとりで総合医療センター なめがた地域医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京科学大学病院 武蔵野赤十字病院 国立災害医療センター 都立小児総合医療センター 東京都保健医療公社豊島病院 新渡戸記念中野総合病院 東京北医療センター 青梅市立総合病院 東京ベイ・浦安市川医療センター 関東労災病院 総合病院国保旭中央病院 自治医科大学付属埼玉医療センター 秀和総合病院 草加市立病院 塩田記念病院 富士吉田市立病院 三島総合病院 翠清会榎川病院 釧路孝仁会病院